

◎第12回理事会(37.5.18)出席者:永田会長,滝山,山本両副会長,ほか理事9名。議事:1)常議員会,総会提出議案関係について協議し,一部修正または原案どおり承認。2)衛生工学委員会につき協議し,衛生工学全分野にわたり,ことに最近の課題をとりあげて研究することとして,委員も通産省その他必要ある場合は土木の専門でない方にもお願いすることで承認。3)地区常議員,支部長および委員会委員委嘱について。

- ① 北海道支部
 支部長 猪瀬 寧雄(北海道開発局長)
 常議員 穴盆 正吉(北海道開発局港湾部港湾計画課長)
 “ 板倉 忠三(北海道大学教授)
 “ 白川 秀一(北海道土木部港湾課長)
- ② 東北支部
 支部長 小西 則良(建設省東北地方建設局長)
 常議員 河上 房義(東北大学教授)
 “ 矢崎 道美(東北電力KK建設局長)
- ③ 中部支部
 常議員 角田 敏雄(岐阜大学助教授)
- ④ 関西支部
 常議員 石田 一郎(国鉄大阪工務局長)
 “ 佐藤 繁次(日本道路公団大阪支社長)
 “ 中安 米蔵(建設省近畿地方建設局長)
 “ 矢野 勝正(京都大学教授)
- ⑤ 西部支部
 支部長 松尾 春雄(九州大学教授)
 常議員 坂梨 宏(建設省九州地方建設局企画室長)
 “ 有田 達(日本道路公団福岡支社調査課長)
 “ 内田 一郎(九州大学教授)
 “ 尾崎 重雄(運輸省第四港湾建設局長)
- ⑥ 文献調査委員会
 委員長 千秋 信一(電力中央研究所)
 委員 北原 義浩(“)
 “ 船越 稔(東京大学工学部)
 “ 山口 高志(建設省土木研究所)
 “ 佐々木 毅(運輸省港湾局)
 “ 梶枝 忍(電力中央研究所)
 “ 西藤 冲(建設省都市局)
 “ 村上 巳里(建設省道路局)
 “ 藤井 治芳(建設省土木研究所)
 “ 大野 善雄(建設技術研究所)
 “ 山口 甚郎(建設省河川局)
 “ 土岐 祥介(運輸省港湾技術研究所)
- ⑦ 論文集編集委員会
 委員 佐武 正雄(京浜急行電鉄KK工務部)
 “ 玉野 治光(首都高速道路公団工務部)
 “ 堀井健一郎(早稲田大学理工学部)
 “ 岡内 功(中央大学理工学部)
 “ 吉川 秀夫(建設省土木研究所)
 “ 安芸 周一(電力中央研究所)
 “ 後藤 圭司(東京都水道局建設部)
 “ 堀川 清司(東京大学工学部)
 “ 小池 力(運輸省港湾局)
 “ 久武 啓祐(建設省河川局)
 “ 箭内 寛治(山梨大学工学部)
 “ 多田 宏行(建設省関東地方建設局道路部)
 “ 吉田 巖(建設省土木研究所)
 “ 村田 二郎(東京都立大学工学部)
 “ 山根 孟(建設省道路局)
 “ 西尾 元充(アジア航空測量KK)

4) その他

◎各種委員会

(1) 第6回出版企画委員会(37.4.25)出席者:荒井副委員長,八十島幹事長,ほか委員および幹事7名。議事:1)学会出版物の取りあげ方法。2)委員会関係出版物の強化方法。3)土木工学用語事典については理事会に再度申入れを行ない,ハンドブック編集委員会に協力を依頼することとした。4)工事誌の出版についての電発からの申入れを検討,具体的には高橋幹事が意向を聞くこととした。5)50周年記念出版物とし,とりあえず理事会に3点ほど提案。6)工高むけ参考書につき検討。7)写真コンテスト,工高生を対象としたJ R版の発行,学会誌をやさしくする方法などにつき会誌編集委員会に申入れを行なう。

(2) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会主査幹事会(37.4.26)出席者:国分委員長,川口主査,ほか各分科会主査および幹事18名。議事:1)柱フラット スラブ分科会の報告(野口幹事)。2)フーチング分科会の報告(村田主査)。3)工場製品分科会の報告(杉木主査)。4)示方書改訂の問題点の件。

(3) 第11回会誌編集委員会(37.4.27)出席者:堺副委員長,ほか委員18名。1)投稿原稿の審査報告および新規受付原稿審査委員の決定。2)依頼原稿状況。3)展望記事および特集記事等について。4)出版企画委員会よりの申入れ事項について。5)委員交代について。6)その他。

(4) 本州四国連絡橋技術調査委員会基礎に関する専門部会幹事会(37.4.27)出席者:建設省側幹事8名,国鉄側幹事9名。議事:1)前回議事録の承認。2)今回幹事会提出資料について。3)現地試験について。4)第2回基礎に関する専門部会について。5)部会長代理について。6)その他。

(5) 異形鉄筋設計研究小委員会(37.5.1)出席者:幹事3名。議事:4月18日の幹事会で審議未了の分につき取りまとめを行なった。

(6) 第6回海外連絡委員会(37.5.4)出席者:田中委員長,八十島幹事長,ほか委員および幹事10名。議事:1)田中委員長より1961年英文年報発刊について報告。1)年報の配布先について。3)年報の収支について。4)委員会の構成について。5)国際会議について。6)本年度英文年報の編集方針について。

(7) 東京湾沿岸地域における貨物流動調査委員会(37.5.7)出席者:八十島副委員長,寺西幹事長,ほか委員および幹事14名,関係者4名。議事:調査報告書(案)につき説明,審議を行なった結果,さらに検討した上で報告書として提出することになった。

(8) トンネル工学委員会幹事会(37.5.7)出席者:加納幹事長,ほか幹事4名。議事:1)トンネル工学シンポジウム広告の件。2)委員会運営資金について。3)トンネル工学標準示方書委員構成について。4)その他。

(9) 地震工学国内シンポジウム運営委員会(37.5.7)出席者:岡本委員長,ほか委員8名。議事:1)前回の幹事会の運営案につき報告検討。2)パネル討議の方法について。3)その他。

(10) 第12回会誌編集小委員会(37.5.8)出席者:堺副委員長,ほか委員3名。議事:1)学会誌47巻5号の口絵写真およびニュースの決定。2)田中阪大教授の逝去についての編集部としての取扱いを協議し,学会における過去の業績を考えて特に2ページの追悼文を掲載することを決定。3)47巻6号の会誌の内容を最終的に決定。4)その他。

(11) 異形鉄筋設計研究小委員会(37.5.8)出席者:国分委員長,ほか委員8名。議事:1)シンポジウムの発表形成について。2)幹事会での取りまとめ結果について。3)次会を最終委員会とし7月中旬に開く,それまでに意見を学会まで提出され

るよう学会から要請することになった。

(12) 第6回論文集各部委員会(37.5.9)出席者:第1部会・久保部会長,ほか委員10名,第2部会・林,吉川(新)両部会長,ほか委員9名。第3部会・山川部会長,ほか委員7名,第4部会・丸安部会長,ほか委員8名,その他・奥村理事。議事:1)各部会ごとに審査中原稿の審査報告。2)新規受付原稿審査委員の決定。3)新旧両委員による事務引継ぎ。4)委員会の規定および方針の説明。5)37年度部会長,部会幹事を決定

	部会長	部会幹事
第1部会	北川 英夫	山本 稔
第2部会	吉川 秀夫	堀川 清司
第3部会	山川 尚典	浅川 美利
第4部会	丸安 隆和	佐藤 吉彦

6)新委員への送付事項。7)その他。

(13) 夏期講習会講師打合せ(37.5.10)出席者:関係者13名。議事:1)題目の確認と訂正・①中島講師は基礎工事の機械化とした,②西嶋講師は地下鉄道の施工法とした。2)講演日時決定。3)映画会,上映映画は各講師が適当なものを選定し事務局で時間を検討して決定する。4)見学会・①東海道新幹線工事現場 池原講師が案を立てる,②首都高速道路,地下鉄工事現場および羽田空港モノレール,中島,西嶋講師が案を立てる。

(14) 第4回PC施工分科会(37.5.11)出席者:菅原主査,ほか委員9名,関係者6名。議事:1)コンクリート接着剤の実験実施について。2)固練りコンクリートの適当なウォーカーピッチ測定器具の考案について。3)小規模現場に適当な簡易管理試験方法の現場への試験適用について。4)PC橋の事故に関する調査表の最終確認。5)その他。

(15) 第12回文献調査委員会(37.5.11)出席者:久野委員長,ほか委員および幹事10名。議事:1)47巻6号登載抄録,文献目録の件。2)新委員会への送付事項について。3)文献カードの作成状況について。4)次回委員会の件。5)その他。

(16) 土木賞候補論文打合せ(37.5.11)出席者:永田委員長,ほか委員および幹事3名。議事:土木賞候補論文につき打合せ,最終的決定をした。

(17) 鉄筋コンクリート示方書改訂小委員会第3分科会(37.5.11)出席者:堤主査,ほか委員2名。議事:1)版理論の検討。2)有効巾,連続版のモーメントについて。3)その他。

(18) 衛生工学委員会設置準備打合せ(37.5.14)出席者:関係者4名。議事:1)現在までの経過概要を説明。2)衛生工学委員会のありかたにつき討議。3)委員会内規について。4)委員会構成について。5)第1回委員会を6月中旬に開催する。

(19) 第1回原子力土木技術委員会(37.5.14)出席者:左合委員長,ほか委員7名。議事:1)内規の説明。2)委員の増加について。3)原子力学会よりの要望について。4)委員会の研究問題について。5)今回は6月25日に開き,取上げるべき問題,順位,担当者をきめるためその資料を6月16日までに提出する。

(20) 本州四国連絡橋技術調査委員会幹事会(37.5.15)出席者:建設省側幹事3名,国鉄側幹事4名。議事:1)昭和37年度委員会の実行計画・①上部構造に関する専門部会の設置,②委員の現地視察について,③委員会の開催日数について。2)昭和36年度の調査成果および昭和37年度の調査成果および昭和37年度の調査計画について。

(21) 第4回本州四国連絡橋技術調査委員会基礎に関する専門部会幹事会(37.5.15)出席者:建設省側幹事8名,国鉄側幹事8名。議事:1)第1回議事録の承認。2)第2回専門部会提出資料について。3)幹事に伊東茂富氏追加の件。4)議長の交

渉について。5)次回幹事会を5月30日とし,次回専門委員会は7月下旬とする。

(22) 文献調査委員会臨時打合せ(37.5.15)出席者:久野,千秋(新)両委員長,日野,駒田(新)両幹事。議事:1)37年度委員会の構成等打合せ。2)各委員の担当文献の調整。3)次回委員会の件につき資料整備,その他につき打合せ。

(23) 総会総合講演者打合せ(37.5.15)出席者:関係者5名。議事:1)原稿の執筆(原稿用紙20枚以上)確認。2)図面,スライドの有無等。3)その他。

(24) 第56回耐震工学委員会(37.5.16)出席者:委員4名,ほか関係者4名。議事:1)国鉄新幹線(ラーメン高架橋)についての各種試験について次の講演を行なった。(参加者19名)

国鉄新幹線総局 松本 嘉司
国鉄技研 大地 羊三

2)WCEEについて・①国内委員追加推薦について,②その他。
3)地震報告書について。4)地震工学国内シンポジウムについて。5)国鉄報告書の出版について。6)英文示方書について。

(25) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会(37.5.17)出席者:国分委員長,川口主査,ほか委員および幹事38名。議事:1)改訂原案の検討について。2)今後の運営方法について。3)新委員の追加について。運輸省民鉄から1名,後藤幸正氏(東北大),運研木庭委員を木村氏に交代する。4)コンクリート・ライブラリーについて。

◎その他

(1) 第8回関東東地区学生諸君のための映画会

日時:37年5月19日14.30~17.00

会場:土木学会会議室 参加者:52名

上映映画:(1)首都高速道路 (2)高速道路 (3)関門トンネル (4)東洋の旅1部

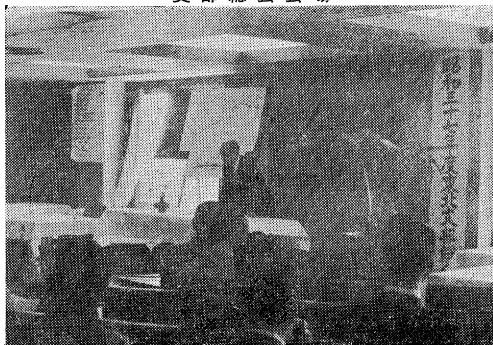
支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 37年度支部総会(37.5.10)

仙台セントラルホテルにおいて開催し,会計報告,その他を行なった。

支部総会会場



- 1) 開会のことば 幹事長
 - 2) 支部長あいさつ 樋浦 大三
 - 3) 議長選出 議長 大宮利左衛門
 - 4) 議 事
- ① 昭36年度事業報告および収支決算報告 幹事長
 - ② 同 監査報告 竹内 季男
 - ③ 昭37年度事業計画および収支予算説明 幹事長
 - ④ 役員選出 推せん有志代表 山本 誠二

- 5) 旧支部長あいさつ
- 6) 新支部長あいさつ 東北地方建設局長 小西則良
- 7) 閉会のことば 幹事長
- 8) 特別講演 名神高速道路について 片平 信貴
- 9) 映画
 - ①高速道路 日本道路公団提供
 - ②名神高速道路 " ③由比の地すべり 国鉄仙鉄提供
 - ④東海道新幹線工事 "
- 10) 懇親会 仙台セントラルホテル (17.00~18.30時)

◎関西支部

- (1) 第4回商議員会 (37.5.18, 中央電気倶楽部) 出席者: 高津支部長, 米谷幹事長, ほか商議員 14名, 常議員 2名, 幹事 11名。
- (2) 第13回幹事会 (37.5.18, 中央電気倶楽部) 出席者: 高津支部長, 米谷幹事長, ほか幹事 10名。
- (3) 第35回通常総会 (37.5.18, 中央電気倶楽部) 参加者

- 94名。①36年度事業および会計報告。②新役員紹介
- 37年度支部長 矢野 勝正 京都大学教授防災研究所
- " 幹事長 米谷 栄二 京都大学教授工学部

商議員 (37,38年度)

赤野 豊	岡 泰久	田中 一夫	森田 長雄
内田 哲郎	後藤 尚男	西田 邦彦	八木 寿
大塚 清	近藤 和夫	三瀬 貞	用害澄之助
大平 拓也	住野 理	室田 明	吉本 彰

関西地区常議員 (37,38年度)

中安 米蔵	石田 一郎	矢野 勝正	佐藤 繁次
-------	-------	-------	-------

幹事 (37年度)

赤尾 親助	岩崎 善吾	小笠原二郎	宮田 裕
石田 聖	大平 拓也	小仲 次郎	毛利 正光
石原 安雄	大村 裕	水野福太郎	芳内 俊夫
伊藤 直行			

(4) 総会懇親会 (37.5.18, 中央電気倶楽部)

参加者	81名	参加費	300円
-----	-----	-----	------

編集後記

学会誌に新しいデザインの表紙が採用されて早くも6回目の発刊を行なう運びとなりました。内容のあり方についても折にふれ意見の交換が行なわれ学会の伝統を守り学会誌として権威あるものとするはもちろん、少しでも会員の皆様方に親しみやすいものになりたいというのが関係者一同の念願であります。

ここ数年来建設工事の規模は質量両面において異常な発展を遂げこれに従事する技術者として毎年全国の大学、工高から社会に送り出される卒業生の数も相当増大しておりながらおその数はいちじるしく不足している現状であります。

土木学会も発展的細胞分裂で学会傘下に幾多の専門学会を取めそれぞれの会誌が数多く発刊されておりますが会員の大多数に最も広く行きわたっているのが土木学会誌である点を思慮す

れば会誌の性格についてもできるだけ広い層を対象として内容を検討する必要があると思われます。

先般の委員会においても会誌を親しみやすくする方法についていろいろと討議され「話のひろば」の一つとして現場探訪を支部でやって戴く、「読者の窓」では求人案内欄、機械器具あるいは文献、雑誌の譲渡照会などをとりあげ、また工高卒業程度の技術者を対象としたジュニア版の発刊、工事写真コンテスト、建設業界から学会への要望等の問題が検討されました。

× × ×

編集委員も次回より半数交替となり新しい委員が新しい感覚で新風を吹き込むこととなりますが会誌は会員皆様のものであり、御希望なり御意見をどしどし編集部あて御送り下さるともに御自身の周囲でまだ入会されていない方々の入会をおすすめ下さるよう御願ひ致します。

【山本・記】

会員入退会について (昭和 37.5.1~5.31)

1. 入会	430名 (正 64 学 362 特1・C 3 特 1・D 1)
2. 復活	20名 (正)
3. 退会	51名 (正 29 学 22)
4. 死亡	2名 (正)
5. 転格	155名 (正→名誉員 10 学→正 144 特 1・D→特 1・C 1)

特別員の入会および転格 (昭和 37.5.1~5.31)

入会	昭和 37.5.16	特 1・C	田木建設 K.K.	東京都
"	" 5. 7	"	K.K. 中野工務店	横浜市
"	" 5.18	"	若松築港 K.K.	東京都
"	" 5.10	特 1・D	運輸省伊勢湾港湾建設部	名古屋市
転格	昭和 37.5. 9	特 1・D→特 1・C	富士製鉄 K.K.	

会員現在数 (昭和 37.5.31 現在)

名誉	正員	学生員	賛助	特級	特 1・A	特 1・B	特 1・C	特 1・D	特 2	計 (増)
48	13097	1176	30	15	15	28	153	226	20	14808 (397)

正員	工博川口輝夫君	日本国有鉄道構造物設計事務所次長	昭和 37.5.28 死去	48才
"	中沢智君	朝日土木KK 東北支店	" 37.2.16 "	33才

昭和 37 年 6 月 10 日印刷

昭和 37 年 6 月 15 日発行

土木学会誌 第 47 卷 第 6 号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池 5 番地

発行者 末森猛雄

発行者 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200 円 (送料 15 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番